



月浦獅子舞

明治 33 年、月浦地区に月浦八幡神社が
 建立され、これを機会に香川県神田に伝
 わる獅子舞が取り入れられました。

現在まで 111 年間途絶えることなく受
 け継がれ、舞い続けられています。昭和
 43 年に地区全戸加入の保存会が結成され
 ました。

現在会員は 30 名で、会長は中村喜一さ
 ん。現在の構成は、獅子 2 人、太鼓裏打
 ち 3 人、舞子表打ち 3 人、鉦（かね） 1 人、
 なぎなた 1 人、笛 2 人の計 12 人。



月浦獅子舞保存会の皆さん

第 2 部

郷土芸能

獅子舞 の 伝承

町内では、月浦、香川、曙地区
 で、讃岐の獅子舞が、100
 年以上にわたって現在まで伝承
 され、各神社祭などで奉納され
 ています。町の無形文化財にも
 指定されています。

道内では、同じように香川県
 からの入植者などによって、8
 市町11カ所で獅子舞が伝承され、
 そのうち4市町6カ所が胆振管
 内に集中しています。

旧洞爺村文化財審議会・旧洞
 爺村教育委員会で作成した「曙
 獅子舞」では、このほかに現在は
 活動していませんが、財田地区

や洞爺市街地区にも獅子舞があ
 り、お祭りには、神社に4地区か
 ら集まって競演していたと記し
 ています。また「仲洞爺の獅子舞
 も参加することがあった」と古
 老の話を用いし、そのにぎわい
 振りを書いています。

少子高齢化で、ますます後継
 者の問題が大きくなってきてい
 ますが、絶やすことなく継続し
 ていってほしいものです。

獅子舞に限らず、様々な郷土
 芸能などの伝承が、地域をまと
 めていく大きな力にもなります。